

K220.72

64

2

例言

一 本習字帖は中學校及び同程度の諸學校の習字教科書として編纂したるものにして、主として文部省所定の現行教授要目に準據し、一部三卷にて成り、毎學年にその一卷を課するものとす。

一 本習字帖の特色は、**手本と同大なる文字を習はしむるを目的とせるにあり**。従來の習字帖は、一般に手本よりも大いなる字を習はしむる様式に成れるが故に、臨書の際に十分に手本を寫すこと能はず。本習字帖の編者は多年の經驗によりて、この不便を除くにあらずんば普通教育に於ける習字の上達竟に望むべからざるを信じ、**豐本及び體裁上の問題を第二に措き、専ら教授上に實際の効果を收めんことを期して、こゝに本習字帖を公にせり。**

一 本習字帖は材料を選ぶに實用を旨とし、専ら日常必須の語句、溫雅健全なる文章を採録し、而してその間に書體と點畫との上に變化を求めて、間架結構を授くるに遺漏なきを期せり。通信往復の書簡文はその簡詳長短によりて次第し、配置の季節を參酌し、諸般の例に互りて措辭作意の模範たるべきものを舉げ、別に附録として色紙短冊の書例を載せたり。

一 本習字帖の大字小字細字の分量及び安排は練習上の功程を參酌して配置上に變化あらしめたるものなれど、授業上の便宜によりて前記後すること固より妨なし。

大正二年七月

開成館編輯所 識

實強術品
思健優行
慮志筭方
周操身正
密堅體學

忠實業ニ
産ヲ治メ
義醇厚
華ヲ去リ
荒怠相
マサル
服ニ
惟メ
俗ヲ
實ニ
自
彊
勤
信
成
就
儉
息

成事多因得志時
每名在窮苦日
官公署學校病院
營店藏製造所劇
局課部掛吏員書
番頭手代雇人職
工

農工商業有
無虛實買賣
貸借損益給
害需用供給

汽 小 通 公 登 特
車 包 帳 債 錄 許
船 為 切 證 商 實
郵 替 手 書 標 意 用
便 預 多 形 配 當 利 新
電 貯 衆 株 券 株 案 願
信 度 梯 戾 戾 梯 戾 屆
話

申請審判決定權受理證據
不富則兵不強富
國之道在勸農工
工賴商以通其貨
衣食足而
榮厚

束案待見
訪內換舞
問誘抄祝
依引謝賀
賴約禮請

新築移轉落成除幕
創業開店披露記念
注文委託支拂資本
經費豫算財產會計
文憑上の手紙は親子夫婦
兄弟朋友子弟里の介に

舟七船夕和見方如舟

藏在樂不方の在方

桃李は言はは丸と

个自に蹊在成す

從子即用公家父母

後善之家有餘慶

靜之能乃德之善處

心誠色溫言和氣雅

嘉辰令月竅無極焉
家子秋未央
長生傲寰宇秋富不
老門前日月庭

東京市麹町區有樂町
三丁目五番地
廣瀨孝悌殿



送かは便郵

恭賀新年

大正 年一月一日

三重縣度會郡東三見村
大字松本
旭 初男

新年の由受めでたく
申納めの貴兄益々由機
嫌よく由起歳たさされ
飲存の至に存ぐり私事
無事に相祝ひり曾由腹
由安心たされたり先は
新年の由祝詞まで
致具

大正 年
一月一日
松村鶴彦

竹林龜吉様

山名風月の佳景は

宝来丸の玉手

かたは若衆の樂は心在

迷はし刃在雲爪人在若

し若也君子の樂は迷

有し心在若也

中出出中，尔尔尔尔尔尔
尔尔尔尔尔尔尔尔尔尔
尔尔尔尔尔尔尔尔尔尔
尔尔尔尔尔尔尔尔尔尔
尔尔尔尔尔尔尔尔尔尔
尔尔尔尔尔尔尔尔尔尔
尔尔尔尔尔尔尔尔尔尔

物品持尺持系特分份外
為彼魁崇言為友有志者
桂林莊種福示徒生 廣謙述
休道他銀多苦辛同袍為
友自和親榮廳時出需如
言天汲川流豕捨勤

明日の會合樂に存せしに
 生摺授けし意用出来致し
 珍念存しの上に行はれ
 ありし會合女子孔同人
 諸君も宜しくお披露なれ
 程にあげてははるけり去致具
 同日

本所區向島小梅町
 百二十三番地

櫻木武丈殿

芝區高輪泉岳寺内
 大石良吉

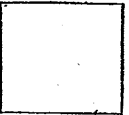
きかは便郵



梅窓後日の思賢を辱し益
 英豪を養けし不白若草萌
 中名春の曉と一日の春風を成す
 有らん三よの由差支木は
 明日午前六時私方まで出出
 起けしは有し物と存し思之
 三月廿六日

京都市上京區寺町
 廣小路上ル
 吉田高伸殿

きかは便郵



愛宕郡大宮村
 大字西畑義
 藤井紫郎

Kara!

大正二年七月廿一日 印刷
大正二年七月廿四日 發行

●複製嚴禁●

【價定納字習等中】	
錢參拾金各	-
	二

●著作權所有●

編纂者 岡田起吉
 發行者 西野虎吉
 發行所 開成館
 東京市小石川區小日向水道町七十三番地
 東京市小石川區小日向水道町七十三番地
 大阪市東區心齋橋通北久寶寺町角
 西區販賣所 三木佐
 東區販賣所 林平次郎
 東京市日本橋區數寄屋町九番地

〔報替口座〕東京第五參貳貳番